



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 スペースシャワー-SKIYAKIホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL https://sssk-hd.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 林 吉人  
 代表取締役共同社長 (氏名) 小久保 知洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03-6478-2394  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,650	14.8	606	159.7	635	161.3	346	125.6
2025年3月期第1四半期	4,920	20.0	233	1.2	243	△0.4	153	△3.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 366百万円 (128.0%) 2025年3月期第1四半期 160百万円 (△32.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	21.11	—
2025年3月期第1四半期	9.24	—

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期第1四半期 一百万円 2025年3月期第1四半期 △0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,243	8,132	52.8
2025年3月期	15,959	8,082	50.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,050百万円 2025年3月期 8,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2025年3月期期末配当金の内訳：普通配当 10円00銭 記念配当 3円00銭

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.8	1,300	48.2	1,300	46.2	750	160.8	45.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) コネクトプラス株式会社

(注) 詳細は、添付資料 8 頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	17,029,205株	2025年3月期	17,029,205株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	655,762株	2025年3月期	488,182株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	16,412,319株	2025年3月期1Q	16,626,947株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等に関する注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、エネルギー価格や生活必需品を中心とした物価上昇が個人消費の抑制要因となっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、大型ライブ・イベントの開催が全国的にコロナ禍以前を超える水準を示し、市場の活性化が進んでおります。一方で、物価上昇に伴う制作費・人件費の高騰がコスト面での課題となっているほか、消費者の支出行動には選別傾向も見られ、価格帯や体験価値に応じた商品設計が求められております。また、AIやデジタル技術の進展により、コンテンツ制作や流通の在り方も変化しており、従来型のビジネスモデルからの転換と、多様化するファンニーズへの対応が重要な課題となっております。

このように多様化し、変革を求められる社会・経済環境において、当社グループは、2024年4月に株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIとの経営統合を経て、持株会社体制へと移行し、両社の強みを活かした新たな企業体制を構築してまいりました。統合から1年が経過し、グループとして初の中期経営計画「Ignite 2027」初年度となる2026年3月期において、コンテンツとテクノロジーを融合させた新たな価値創造に取り組み、定量目標の達成に向けて、持続的な発展を実現してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、株式会社スペースシャワーネットワークのイベント事業で、日本最大級のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」を幕張メッセ国際展示場にて開催し、約3万5千人を動員し、YouTube生配信では総視聴回数180万回を記録するなど成功を収めました。アーティストマネジメント事業では、所属アーティストのSuchmosが横浜アリーナで約6年ぶりの活動再開ライブを行い約2万4千人の動員を記録したほか、レーベル・エージェンツ事業にて、STUTSのリリース楽曲が大塚製薬「ポカリスエット」の新CM曲に採用されるなど、当社グループの企業価値向上に寄与しました。インフィニア株式会社が運営するエンタテインメントカフェ事業では、中京地区初出店となる「あっとほおむカフェ名古屋大須本店」を2店舗同時に開業するなど、継続的に事業を拡大しております。株式会社SKIYAKIのプラットフォーム事業「Bitfan PRO」「Bitfan」においては、ファンクラブの有料会員数が143.6万人（同11.8%増）と好調に推移しました。また、株式会社SPACE SHOWER FUGAが提供するディストリビューション事業や、今年4月の組織再編と共に社名変更を行なった、株式会社スペースシャワーエンタテインメントプロデュース（旧株式会社SEP）が提供する映像制作事業においても、継続的な案件獲得により順調な滑り出しを見せております。

これらの取り組みの結果、売上高は5,650,251千円と前年同期比730,200千円増（同14.8%増）となりました。また、各段階利益につきましては、営業利益は606,242千円と前年同期比372,776千円増（同159.7%増）、経常利益は635,412千円と前年同期比392,269千円増（同161.3%増）、法人税等調整額は183,641千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は346,416千円と前年同期比192,832千円増（同125.6%増）、EBITDAは755,497千円と前年同期比320,916千円増（同73.8%増）となりました。なお、EBITDAは、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額となります。

#### ①コンテンツセグメント

ライブハウス事業やエンタテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、稼働率、来場者数が好調に推移したことに加え、5月10日に「あっとほおむカフェ名古屋大須本店」を新規出店したことによる収容人数の増加などにより、前年同期比で増収増益となりました。さらにイベント事業においては、4回目の開催となった国内最大規模のヒップホップイベント「POP YOURS」がチケットソールドアウトで開催されたことに加え、アーティストマネジメント事業とレーベル・エージェンツ事業では前年同期と比べ大いに活発となった所属アーティストの公演収益拡大により増収増益となりました。

この結果、売上高は2,908,253千円と前年同期比298,818千円増（同11.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は474,379千円と前年同期比275,598千円増（同13.4%増）、セグメントEBITDAは543,203千円と前年同期比258,491千円増（同90.8%増）となりました。

#### ②ソリューションセグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上と著作権隣接権売上が好調に推移したことにより、前年同期

比で増収増益となりました。

この結果、売上高は2,741,998千円と前年同期比431,382千円増（同18.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は131,265千円と前年同期比79,693千円増（同19.0%増）、セグメントEBITDAは211,696千円と前年同期比44,941千円増（同27.0%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が269,604千円、その他（流動資産）が69,116千円、建物及び構築物などの有形固定資産（建設仮勘定を除く）が248,082千円増加した一方で、現金及び預金が902,796千円、建設仮勘定が192,542千円、繰延税金資産が187,774千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ716,049千円減少し、15,243,885千円となりました。

負債は、買掛金が176,184千円増加した一方で、未払金が651,264千円、賞与引当金が159,707千円、その他（流動負債）が117,598千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ766,426千円減少し、7,111,403千円となりました。

純資産は、市場買付により自己株式を取得したことにより自己株式が82,792千円増加した一方で、利益剰余金が113,449千円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ50,377千円増加し、8,132,481千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に発表いたしました2026年3月期通期の業績予想については現在精査中であり、今後修正が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,489,456	5,586,659
受取手形及び売掛金	3,113,989	3,383,594
商品	43,977	53,869
仕掛品	147,303	185,997
貯蔵品	8,420	7,883
その他	575,939	645,056
貸倒引当金	△72,781	△68,336
流動資産合計	10,306,307	9,794,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,170,430	1,436,178
機械装置及び運搬具	12,787	10,287
工具、器具及び備品	660,680	702,200
土地	52,640	52,640
リース資産	3,320	3,320
建設仮勘定	192,542	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△885,382	△942,066
有形固定資産合計	1,207,019	1,262,559
無形固定資産		
のれん	1,217,767	1,194,348
顧客関連資産	1,885,000	1,848,750
商標権	72,186	69,012
ソフトウエア	483,123	458,973
ソフトウエア仮勘定	10,778	36,393
その他	5,199	4,524
無形固定資産合計	3,674,054	3,612,003
投資その他の資産		
投資有価証券	43,758	43,758
敷金及び保証金	436,081	434,382
繰延税金資産	208,046	20,271
その他	88,685	78,555
貸倒引当金	△4,018	△2,371
投資その他の資産合計	772,553	574,597
固定資産合計	5,653,627	5,449,160
資産合計	15,959,934	15,243,885

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,122,449	2,298,634
1年内返済予定の長期借入金	66,400	49,700
リース債務	760	764
未払金	1,214,928	563,663
未払法人税等	113,444	94,966
預り金	2,591,100	2,614,916
賞与引当金	292,348	132,641
役員賞与引当金	39,044	29,979
その他	637,516	519,918
流動負債合計	7,077,994	6,305,184
固定負債		
リース債務	321	128
退職給付に係る負債	522,577	532,306
役員退職慰労引当金	31,322	32,302
繰延税金負債	214,890	210,757
その他	30,724	30,724
固定負債合計	799,836	806,219
負債合計	7,877,830	7,111,403
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	5,819,382	5,819,382
利益剰余金	2,302,452	2,415,901
自己株式	△202,471	△285,264
株主資本合計	8,019,362	8,050,019
非支配株主持分	62,741	82,461
純資産合計	8,082,104	8,132,481
負債純資産合計	15,959,934	15,243,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,920,051	5,650,251
売上原価	3,568,926	3,814,177
売上総利益	1,351,124	1,836,074
販売費及び一般管理費	1,117,658	1,229,832
営業利益	233,465	606,242
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	187	—
為替差益	5,705	10,403
受取和解金	—	17,026
雑収入	5,092	3,219
営業外収益合計	10,989	30,652
営業外費用		
支払利息	371	720
持分法による投資損失	699	—
支払手数料	—	752
雑損失	241	8
営業外費用合計	1,312	1,481
経常利益	243,142	635,412
特別利益		
固定資産売却益	1	15
特別利益合計	1	15
特別損失		
固定資産除却損	0	38
特別損失合計	0	38
税金等調整前四半期純利益	243,144	635,389
法人税、住民税及び事業税	49,459	85,610
法人税等調整額	35,731	183,641
法人税等合計	85,190	269,252
四半期純利益	157,954	366,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,369	19,720
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,584	346,416

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	157,954	366,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,646	—
その他の包括利益合計	2,646	—
四半期包括利益	160,600	366,137
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,080	346,416
非支配株主に係る四半期包括利益	4,519	19,720

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

2025年4月1日を効力発生日として、株式会社SKIYAKIを吸収合併存続会社、コネクトプラス株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、当第1四半期連結会計期間よりコネクトプラス株式会社を連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	177,909千円	125,836千円
のれんの償却額	23,205	23,418

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,609,435	2,310,616	4,920,051	—	4,920,051
セグメント間の内部売上 高又は振替高	164,263	28,328	192,591	△192,591	—
計	2,773,698	2,338,944	5,112,642	△192,591	4,920,051
セグメント利益	198,780	51,571	250,352	△16,886	233,465

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△16,886千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	198,780	51,571	250,352	△16,886	233,465
減価償却費	85,932	91,977	177,909	—	177,909
のれんの償却額	—	23,205	23,205	—	23,205
セグメントEBITDA(注) 4	284,712	166,754	451,467	△16,886	434,581

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式交換により株式会社SKIYAKIの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ソリューションセグメントにおいて7,553,237千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、株式交換により株式会社SKIYAKIの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、ソリューションセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,299,511千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンテンツ	ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,908,253	2,741,998	5,650,251	—	5,650,251
セグメント間の内部売上 高又は振替高	236,675	41,218	277,894	△277,894	—
計	3,144,929	2,783,216	5,928,146	△277,894	5,650,251
セグメント利益	474,379	131,265	605,644	597	606,242

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等597千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとのセグメントEBITDAは次のとおりであります。

	コンテンツ	ソリューション	計	調整額	合計
セグメント利益	474,379	131,265	605,644	597	606,242
減価償却費	68,824	57,011	125,836	—	125,836
のれんの償却額	—	23,418	23,418	—	23,418
セグメントEBITDA (注) 4	543,203	211,696	754,899	597	755,497

4. 各報告セグメントのセグメントEBITDAは、セグメント利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えた金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（企業結合等に関する注記）

（共通支配下の取引等）

I. 吸収分割

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：アライアンス事業（株式会社スペースシャワーネットワーク旧アライアンス事業本部の事業）  
 事業の内容：協賛広告の獲得及び他社とのコンテンツの共同制作等

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社スペースシャワーネットワークを吸収分割会社とし、スペースシャワーエンタテインメントプロデューシング株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）を吸収分割承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

吸収分割会社	吸収分割承継会社
株式会社スペースシャワーネットワーク	スペースシャワーエンタテインメントプロデューシング株式会社（2025年4月1日付で株式会社セップより商号変更）

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

II. 吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

（吸収合併存続会社）

結合企業の名称 株式会社SKIYAKI

事業の内容 ファンクラブなどのプラットフォームの開発・提供

（吸収合併消滅会社）

被結合企業の名称 コネクトプラス株式会社

事業の内容 アーティスト等のファンクラブ/ファンサイトの運営

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社SKIYAKIを存続会社、コネクトプラス株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

吸収合併消滅会社	吸収合併存続会社
コネクトプラス株式会社	株式会社SKIYAKI

(5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化、事業部門間の連携強化、全体的な事業ポートフォリオの最適化を目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。